

全鉄連流通動態調査結果表 2021年10月分

(2021. 11. 29)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		9月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,776	96.3%	40,401	109.1%	40,422	108.5%	5,755	99.6%	
	大阪	2,445	92.1%	17,874	115.0%	17,706	112.4%	2,613	106.9%	
	愛知	4,289	96.9%	3,008	61.0%	3,444	67.9%	3,853	89.8%	
	計	12,510	95.6%	61,283	106.6%	61,572	106.0%	12,221	97.7%	
形鋼	山形鋼	東京	17,871	102.9%	8,277	105.6%	8,407	114.7%	17,741	99.3%
		大阪	21,663	99.6%	8,432	105.7%	8,697	107.9%	21,398	98.8%
		愛知	7,868	91.2%	4,300	110.7%	4,953	106.6%	7,215	91.7%
		計	47,402	99.3%	21,009	106.7%	22,057	110.1%	46,354	97.8%
	溝形鋼	東京	13,676	101.2%	7,171	120.5%	6,472	111.9%	14,375	105.1%
		大阪	10,967	97.5%	7,042	131.6%	5,891	104.6%	12,118	110.5%
		愛知	5,819	92.9%	2,956	85.7%	4,031	103.5%	4,744	81.5%
		計	30,462	98.2%	17,169	116.4%	16,394	107.1%	31,237	102.5%
	H形鋼	東京	29,830	100.0%	17,874	116.8%	16,527	107.9%	31,177	104.5%
		大阪	43,901	101.3%	26,980	110.1%	25,635	107.0%	45,246	103.1%
		愛知	11,717	83.7%	9,860	107.5%	10,779	94.1%	10,798	92.2%
		計	85,448	98.0%	54,714	111.7%	52,941	104.4%	87,221	102.1%
合 計		163,312	98.4%	92,892	111.3%	91,392	106.2%	164,812	100.9%	
コ ラ ム	東京	7,238	93.3%	2,434	109.7%	2,651	96.9%	7,021	97.0%	
	大阪	8,881	98.7%	4,328	112.0%	2,899	72.9%	10,310	116.1%	
	愛知	1,392	90.7%	1,251	122.4%	1,259	108.1%	1,384	99.4%	
	計	17,511	95.8%	8,013	112.8%	6,809	86.4%	18,715	106.9%	
軽量C形鋼	東京	3,441	101.8%	1,801	80.3%	1,806	82.8%	3,436	99.9%	
	大阪	2,913	102.4%	2,016	113.2%	1,610	94.0%	3,319	113.9%	
	愛知	2,867	103.6%	1,032	85.8%	1,256	113.8%	2,643	92.2%	
	計	9,221	102.5%	4,849	92.8%	4,672	93.5%	9,398	101.9%	
総 計		202,554	98.2%	167,037	109.0%	164,445	104.7%	205,146	101.3%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪19 愛知13 合計62社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。